

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, April, 2008

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

4月の状況 (佐藤)

☆ 17P/Holmes

国内から眼視観測の報告はなかった。海外では、Juan José Gonzálezが黄道光の見える透明度の良い山で、4月3.90日UT、4×3cm単眼鏡で全光度5.4等、Dia 60' DC 0と観測した。しかし、4月23.92日UTには黄道光の影響か6×5cm単眼鏡や10×5cm双眼鏡では見られなかった。25×10cm双眼鏡で辛うじて40'のコマを確認した。

☆ C/2007 W1 (Boattini) (写真 a)

4月7日、oaa-comet ML に千葉県船橋市の張替憲氏から4月4日の観測について「九十九里海岸での眼視観測です。到着が夜半を過ぎてしまい南南西の太平洋上低空の観測となりました。未明に眼視で見える彗星が少なく1個のみの観測です。…薄モヤを通して淡く拡散した姿を確認しました。光度は近くの10.3等星(TYC6098711)よりやや暗いか同程度と見積もりました。」また、14日は、11日の観測について「…仕事を終えてからの出発、現地到着が今回も夜半を過ぎてしまいました。…観測時、彗星が10.9等と10.4等の2つの恒星上にちょうど乗っていました。本来ならば彗星が移動するのを待って光度観測をするべきなのでしょうが、すでに高度20度の低空にあったため一応の目測をしました。」との報告があった。

眼視による観測が次のように報告されている。

C/2007 W1 (Boattini)

2008	UT	ml	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Apr.	4.70	10.5	3'	3	-	-	2/5	4/5	78×32cmL	張替憲
	11.68	10.5	3.5	3	-	-	3/5	3/5	78×32cmL	張替憲

その後、4月末までに最大7等級に増光していることが国内外で眼視観測されている。

その他4月中に発見・検出された彗星は次のとおり。

☆ C/2008 G1 (Gibbs) 4月7.36日UT、A. R. Gibbs は、Mt. Lemmon サーベイの1.5-m 反射の画像から4"の小さいコマと p.a. 225°に65"の狭い尾のある彗

星を発見した。小惑星センターのNEOCPウェブページに掲載後L. Buzzi (Varese, イタリア, 0.60-m 反射)ら幾人かの CCD 位置観測者によって観測された。(IAUC 8932, 2008 Apr. 9)

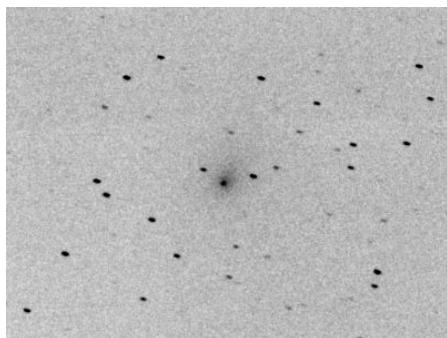
☆ P/1994 J3 = P/2008 G2 (Shoemaker) 4月10日にCatalinaスカイサーベイによって報告された一夜の小惑星の観測から小惑星センターのT. B. Spahrは、P/1994 J3 (Shoemaker 4)と特定した。Brian G. Marsdenは、4月1日のCatalinaデータで対応する候補を特定した。MPC 56803 (MPC 60734 の位置推算表)に対する予報に対する修正は、 -1.7 daysであった。(CBET 1347, 2008 Apr. 19)

☆ 198P/1998 X1 = 2006 B7 (ODAS) 小惑星センターのG. V. Williamsは、2005年1月~2月のSpacewatch、Mt. Lemmonサーベイデータから、P/1998 X1 (ODAS)を再発見した。MPC 45656の予報に対する修正は、 $\Delta T = -2$ daysであった。(IAUC 8929, 2008 Mar. 31)

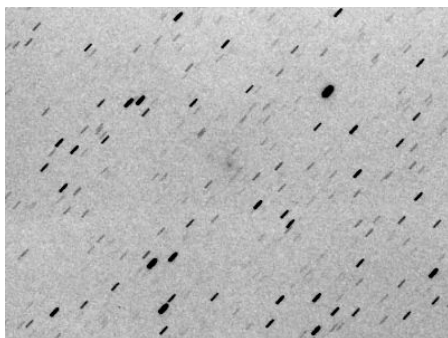
E. J. Christensenは、Mt. Lemmonの1.5-m反射により、2005年10月7日に一夜のみであるが検出していた。(comets-ml, 2006 Apr. 25)

☆ C/2008 H1 (LINEAR) 4月18.35日UT、LINEARプロジェクトにより小惑星状天体が発見され、NEOCPウェブページに掲載後、E. Reina (Masquefa 天文台, Hospitalet, スペイン, 0.25-m f/3.3 Schmidt-Cassegrain)ら CCD 位置観測者によって彗星状として観測された。(IAUC 8938, 2008 Apr. 23)

その他比較的明るい彗星は、C/2008 C1 (Chen-Gao) (写真 b)、29P/Schwassmann-Wachmann、C/2007 B2 (Skiff)、C/2005 L3 (McNaught)などであった。



(写真 a) C/2007 W1 (Boattini) 2008, 04, 06
23h 30.0m-40.0m (JST) exp. 60sx7 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2008 C1 (Chen-Gao) 2008, 04, 06
21h 16.0m-26.0m (JST) exp. 60sx7 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏